

# 米対策第二次試案なる

農林省は11月25日、自民党総合農政調査会の小委員会に来年度の米の生産調整、転作促進を中心とした米対策の第二次試案を提出した。

農林省は試案をもとに生産調整の実効をあげるための歯止め措置、米価水準、奨励補助金額などを織り込んだうえ、大蔵省と米対策の政府案づくりの詰めを急ぐ。

## 米対策第二次試案の内容

### 生産調整

1. 米の恒率的な過剰傾向に対処するため、米の生産調整対策をいっそう強力に展開する。このため長期的な目標のもとに一定期間の実施計画をもった生産調整措置を食糧管理の制度、運営の改善と関連づけて実施する。

1. 生産調整の目標数量は、目標年次の需給の均衡を図る観点から、毎年おおむね300万トン程度とする。

1. 農林大臣はこの目標数量を都道府県別に配分する。46年度の目標数量の配分は、水稻の農業生産の地域分担の指標、および政府買入れ数量などを勘案して行なう。都道府県知事は、こうして配分された都道府県別目標数量を市町村別に配分し、市町村は農家の過去の政府買入れ数量などを勘案して農業者に配分する。

1. 生産調整は転作、休耕により実施する。

1. 生産調整の実施期間に生産調整を実施した者に奨励補助金を交付する。調整補助金の額は、永年性作物への転作、大豆または飼料作物への転作、大豆および飼料作物以外の作物への転作、農地保有合理化法人への貸付け、市町村などへの休耕地の寄託または単純休耕の順に格差を設けるものとし、稲作所得との関連を考慮して定める。転作の場合の奨励補助金は、税法上の優遇措置を構ずる。

1. 公共事業、農村地域への工業導入または農住都市構想の推進などによる水田の転用の促進を図る。このため、公共施設などの敷地への水田の優先利用、地方公共団体などが水田の取得を行なうために必要な資金措置などにつき関係各省の協力を求めるほか、地方公共団体などによる水田の取得のための資金として、農協系統資金が円滑に活用されるよう、助成措置を構ずるとともに、農地転用の円滑化を図る措置を検討する。

1. 水田の林地への転換を促進するため、造林補助事業に基づく水田跡地への拡大造林を積極的に推進する。このほか、国有林野事業特別会計は、水田の所有者から水田の売渡しの申立があった場合には、林地としての買入れを行なう。

1. 生産調整の補完的措置として、自作農創設特別措置特別会計は、水田の所有者から水田の売渡しの申出が

あった場合には、その買入れを行なう。

1. 生産調整の実効を確保するため、食糧管理の制度、運営の改善を行なう。

### 転作

1. 昭和50年の転作作目別の目標面積は、飼料作物約20万ha、永年性作物3万4千ha、大豆など豆類18万ha、野菜4万7千ha、その他作物3万9千haの合計50万haとし、ほかに造林4万haとする。

1. 土壌改良、肥培管理などを行ない。野菜、果樹、桑、花き、特産農産物などは、経営の規模拡大という形で転作が定着するよう指導する。

大豆、飼料作物、麦など、一定の所得を得るのに広い農地を要するものは借地、作業受託などを通じて相当規模の栽培が可能になるような推進体制を確立する。

1. 転作促進のため奨励補助金に休耕と差を設け、さらに永年性作物、転作の定着の難易など、転作の態様に応じて格差をつける。

1. 集団的な転作を促進するため、必要な機械施設の導入、排水の改良、整地などの土地条件の整備を行ない、特に水田を集団的に畑地に地目変換するなど、大規模な土地条件の整備については公共事業により土地基盤の整備を促進する。

### 計画樹立と推進体制の整備

1. 国、都道府県は転作促進に関する基本的方針を策定する。市町村は転作を計画的に促進するため、地域農林業の方向に対応した稲作転換計画を樹立する。国、都道府県、市町村の各段階において、行政機関、農業団体などにより推進体制を確立する。

1. 米の生産調整数量について都道府県別配分(12月を予定)に続き、都道府県が市町村別の配分を行なう。

市町村は46年度の市町村稲作転換実施計画の策定(4月を予定)の後、46年11月までに5か年にわたる市町村稲作転換計画を樹立する。

## <目次>

- ・まず「米権」?をわが手に …………… (2)  
～ことしの回顧と展望～  
日本経済新聞編集委員 山 地 進
- ・米対策第2次試案なる …………… (3)
- ・北の稲、南の稲 …………… (4)  
九州農業試験場 清 野 馨
- ・鳥取県の米と燐硝安加里の追肥効果 …………… (6)  
鳥取県農業試験場 大野 猛郎
- ・プラスチックの上手な使い方(完) …………… (8)  
金購連園芸技術室 内海 修一
- ・茶園の土壌診断(マグボロン施用の効果) …………… (10)  
四日市市農協指導課 稲葉 幸好
- ・CDUができるまで(水俣工場を訪ねて) …………… (12)
- ・45年度本誌既刊総目次 …………… (15)